

つくる健康



京都医療生協

第189号 2018年(平成30年)10月15日
発行所/京都医療生活協同組合
京都市中京区聚楽廻東町2番地
視力センタービル地階
☎075(822)2286 FAX075(822)6133
発行責任者/山田 亮三

京都医療生協・中野眼科

組織強化月間にあたって

中野眼科を開設している京都医療生活協同組合では、十月～十一月を中心に組織強化月間に取り組みます。
これはわが国で「生協法」が施行された一九四八年(昭和二十三年)十月一日を記念した全国的運動の一環です。強化月間では、組合員向けの事業や患者さん・市民の皆さん向けのイベントの実施を通して、医療生協の活動趣旨を見つめ直し、さらに新規加入を促進します。これを機に京都医療生協への加入をお願いします。

目の生涯健康を守るために さらに信頼される中野眼科をめざして

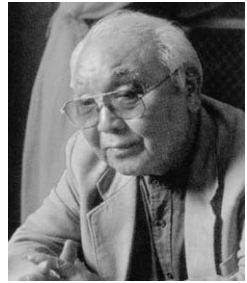


京都医療生協理事長 山田 亮三

大阪北部地震・西日本豪雨・大型台風21号・北海道地震で被災された方々にお見舞い申し上げます。続発する自然災害に向き合うとき、備えの大切さをあらためて痛感します。
北朝鮮非核化は成るか
六月の歴史的な米朝首脳会談後も、北朝鮮非核化への道は未だ見えません。非核化のみならず、拉致問題や朝鮮戦争終結をも包括する日本政府の独自外交の推進が待たれます。
人生百年時代を迎えて
厚労省は、今年の敬老

日本映画界の巨匠・中島貞夫監督が語る

「京都映画史と心に残る映画俳優たち」 ～組合員交流集会ご案内～



医療生協・中野眼科では、組織強化月間の取り組みの一つとして、組合員の皆さんが楽しく交流するためのイベントを例年企画して好評を得ています。
今年度は日本映画界の巨匠としてこれまで六十本以上の映画を作り、八十四歳になられる今、新作時代劇『多十郎殉愛記』を完成させた中島貞夫監督を講師にお招きします。第一部「京都映画史跡を訪ねて」では、町のあちこちに点在する映画に関する名所をご案内

間短縮が地域社会と人間をも復活させるでしょう。
京都医療生協への参加を
中野眼科は、通院治療での最新診療(白内障手術・眼内注射による網膜疾患治療・緑内障診療)、コンタクトレンズ専門診療、その他一般診療を、大学病院など基幹病院と連携して、四診療所が協力し、「患者さん第一」の立場で、診療に取り組んでいます。設立法人である京都医療生活協同組合に、一人でも多くの患者さんに加入いただき、豊かな長寿社会を築くために

無料眼科健診のご案内

緑内障の原因はまだ解明されていませんが、四十歳以上の二十人に一人が患者であり、わが国の失明原因の第一位となっています。とくに自覚症状のないうちに病気が進行し、視野が狭くなるのが特徴で、やはり早期発見が必須の病気です。京都医療生協が毎年実施している無料眼科健診では、視力、眼圧、血圧等を検査し、藤田裕美医師が前眼部や眼底などを診察し、緑内障だけでなく目の病気の有無をお伝えします。これまで眼科を受診したことがない方は、これを機会に是非とも受診されることをおすすめします。
日時：十月二十五日(木)午後二時～
場所：中野眼科本院
(千本丸太町西南角)
申込：中野眼科受付または京都医療生協事務局まで

京都大学生協と連携して健康啓発事業のご案内

医療生協・中野眼科では、前年度に引き続き「目の健康を守る」ためのコーナーを担当します。とくに最近注目されているコンタクトレンズに関する目のトラブルに對する確かな予防や正しい使い方について情報提供を行います。
月日：十月二十九日(月)～十一月一日(木)
会場：京都大学/西学生会館ルネ



ラジオ体操が日課だ。その効果をよわいを重ねることに感じる。ラジオ体操が日本で始まったのは一九一八年。現在のようになったのは一九五一年で、音楽は服部正の作曲だ。何気なく音楽に合わせて肢体を動かしているが、①深呼吸の運動②腕を振って脚を曲げ伸ばす運動③腕を回す運動④胸をそらす運動⑤身体を横に曲げる運動⑥身体を前後に曲げる運動⑦身体をねじる運動：十一種と全身にわたっている。そして最後にまた②と①にもどる。よく考えられている。それはそうと最近、ラジオ体操の他に目の筋肉体操も始めた。上、右上斜め、右、右下斜め、下、左下斜め、左、左上斜めの順に顔を静止したまま目だけ動かす。これを何回か繰り返す。パソコンの画面に疲れたときはもちろん、一日一回は動かすようにしている。自己流だが、まあいいか(笑)。脳への情報の九割を目が担っているというから身体を他の部位以上に、とまれ目を労わってあげないといけないと思う。
(川久保雄郎)

安心・安全なコンタクトレンズの提供のために

日本眼科医会によるアンケート調査結果から

コンタクトレンズ利用者が一千五百〜一千八百万人と言われる現在日本、国民の六〜八人に一人が使っておられることになりました。これに雑貨店や非正規販売ルートでの購入数を加えると、さらに多数の利用者があることとなります。

また二〇一七年九月以降、四度にわたって出された「コンタクトレンズ」の調査結果が発表されました。このように国民多数が利用しているコンタクトレンズは、新素材の開発や製品管理の向上によつて、安全性が高まっていることが実効性は未だに確認とは言えません。



©JPN-TENPOZANGALLERY-OMORISYUNJI

中野眼科駅前診療所の近くに建つ東本願寺だけでは、京都は語れません。やはり物事には上下・左右・表裏があり、東があれば西もある、そんなバランス感覚が京都の魅力かも知れません。西本願寺周辺のこんな街並にも風情が感じられます。(大森 俊次)

が最多数を占め、つづいて三十歳代、四十歳代の順となり、この若年層での眼障害傾向からも、眼科医による診察や処方を受けずに安易にコンタクトレンズを購入できる非対面販売による購入の増加、眼科医療機関への受診機会の減少が重大な要因と推測し得ます。

脂が大きな比率を占めています。他覚的所見では、アレルギー性結膜炎、巨大乳頭結膜炎、毛様充血(黒目を囲む白目の充血)、角膜上皮びらんや点状表面層角膜炎、角膜潰瘍・角膜浸潤などの角膜炎疾患が多く見られます。

このような眼障害の抑制のためには、より厳格な診療とコンタクトレンズ利用者のコンプライアンス意識の向上が求められています。とくにインターネットでの非対面販売利用者の増加は、カラーコンタクトレンズだけでなく視力矯正用の透明なコンタクトレンズにおいても、今後眼障害が増加する危険性をほらんでいることに着目する必要があります。

このような眼障害の抑制のためには、より厳格な診療とコンタクトレンズ利用者のコンプライアンス意識の向上が求められています。とくにインターネットでの非対面販売利用者の増加は、カラーコンタクトレンズだけでなく視力矯正用の透明なコンタクトレンズにおいても、今後眼障害が増加する危険性をほらんでいることに着目する必要があります。

脂が大きな比率を占めています。他覚的所見では、アレルギー性結膜炎、巨大乳頭結膜炎、毛様充血(黒目を囲む白目の充血)、角膜上皮びらんや点状表面層角膜炎、角膜潰瘍・角膜浸潤などの角膜炎疾患が多く見られます。

このような眼障害の抑制のためには、より厳格な診療とコンタクトレンズ利用者のコンプライアンス意識の向上が求められています。とくにインターネットでの非対面販売利用者の増加は、カラーコンタクトレンズだけでなく視力矯正用の透明なコンタクトレンズにおいても、今後眼障害が増加する危険性をほらんでいることに着目する必要があります。

このような眼障害の抑制のためには、より厳格な診療とコンタクトレンズ利用者のコンプライアンス意識の向上が求められています。とくにインターネットでの非対面販売利用者の増加は、カラーコンタクトレンズだけでなく視力矯正用の透明なコンタクトレンズにおいても、今後眼障害が増加する危険性をほらんでいることに着目する必要があります。

脂が大きな比率を占めています。他覚的所見では、アレルギー性結膜炎、巨大乳頭結膜炎、毛様充血(黒目を囲む白目の充血)、角膜上皮びらんや点状表面層角膜炎、角膜潰瘍・角膜浸潤などの角膜炎疾患が多く見られます。

このような眼障害の抑制のためには、より厳格な診療とコンタクトレンズ利用者のコンプライアンス意識の向上が求められています。とくにインターネットでの非対面販売利用者の増加は、カラーコンタクトレンズだけでなく視力矯正用の透明なコンタクトレンズにおいても、今後眼障害が増加する危険性をほらんでいることに着目する必要があります。

このような眼障害の抑制のためには、より厳格な診療とコンタクトレンズ利用者のコンプライアンス意識の向上が求められています。とくにインターネットでの非対面販売利用者の増加は、カラーコンタクトレンズだけでなく視力矯正用の透明なコンタクトレンズにおいても、今後眼障害が増加する危険性をほらんでいることに着目する必要があります。

このような眼障害の抑制のためには、より厳格な診療とコンタクトレンズ利用者のコンプライアンス意識の向上が求められています。とくにインターネットでの非対面販売利用者の増加は、カラーコンタクトレンズだけでなく視力矯正用の透明なコンタクトレンズにおいても、今後眼障害が増加する危険性をほらんでいることに着目する必要があります。

このような眼障害の抑制のためには、より厳格な診療とコンタクトレンズ利用者のコンプライアンス意識の向上が求められています。とくにインターネットでの非対面販売利用者の増加は、カラーコンタクトレンズだけでなく視力矯正用の透明なコンタクトレンズにおいても、今後眼障害が増加する危険性をほらんでいることに着目する必要があります。

このような眼障害の抑制のためには、より厳格な診療とコンタクトレンズ利用者のコンプライアンス意識の向上が求められています。とくにインターネットでの非対面販売利用者の増加は、カラーコンタクトレンズだけでなく視力矯正用の透明なコンタクトレンズにおいても、今後眼障害が増加する危険性をほらんでいることに着目する必要があります。

このような眼障害の抑制のためには、より厳格な診療とコンタクトレンズ利用者のコンプライアンス意識の向上が求められています。とくにインターネットでの非対面販売利用者の増加は、カラーコンタクトレンズだけでなく視力矯正用の透明なコンタクトレンズにおいても、今後眼障害が増加する危険性をほらんでいることに着目する必要があります。

中野眼科 一斉休診のお知らせ
今年度の年末年始は、中野眼科のすべての診療所で、十二月二十日(日)から一月四日(金)までの六日間が一斉休診となります。どうぞよろしくお願いたします。

永田さんは京大名譽教授の細胞生物学者。また、歌人としても知られます。同書は、若者へのメッセージを主に京都新聞に連載したものを、後に加筆するなどして刊行されたものです。タイトルはやや難解な気もしますが、この障害の重症化も危惧されるから、コンタクトレンズが高度管理医療器(クラスⅢ人工呼吸器など)であり、医療機関の診療、そして適正な情報提供を受けてから利用することの必要性がわかります。京都医療生協・中野

ふりかえってみましょう

京都医療生協の70年①

終戦後まもない一九五〇年(昭和二十五年)に設立された京都医療生活協同組合は二〇二〇年に開業医が、一九四八年(昭和二十三年)制定の「消費生活協同組合法」の後押しを得て、生活協同組合を基礎にした医療活動に取り組んだことが

終戦直後、国民は高物価・インフレ・物不足にあえぎ、また開業医にとつても健康保険診療報酬収入の遅延・診療施設の荒廃・医療衛生材料の不足、さらには徴税攻勢などの困難がありました。経営危機に直面する開業医が、一九四八年(昭和二十三年)制定の「消費生活協同組合法」の後押しを得て、生活協同組合を基礎にした医療活動に取り組んだことが

終戦直後、国民は高物価・インフレ・物不足にあえぎ、また開業医にとつても健康保険診療報酬収入の遅延・診療施設の荒廃・医療衛生材料の不足、さらには徴税攻勢などの困難がありました。経営危機に直面する開業医が、一九四八年(昭和二十三年)制定の「消費生活協同組合法」の後押しを得て、生活協同組合を基礎にした医療活動に取り組んだことが

終戦直後、国民は高物価・インフレ・物不足にあえぎ、また開業医にとつても健康保険診療報酬収入の遅延・診療施設の荒廃・医療衛生材料の不足、さらには徴税攻勢などの困難がありました。経営危機に直面する開業医が、一九四八年(昭和二十三年)制定の「消費生活協同組合法」の後押しを得て、生活協同組合を基礎にした医療活動に取り組んだことが

終戦直後、国民は高物価・インフレ・物不足にあえぎ、また開業医にとつても健康保険診療報酬収入の遅延・診療施設の荒廃・医療衛生材料の不足、さらには徴税攻勢などの困難がありました。経営危機に直面する開業医が、一九四八年(昭和二十三年)制定の「消費生活協同組合法」の後押しを得て、生活協同組合を基礎にした医療活動に取り組んだことが

終戦直後、国民は高物価・インフレ・物不足にあえぎ、また開業医にとつても健康保険診療報酬収入の遅延・診療施設の荒廃・医療衛生材料の不足、さらには徴税攻勢などの困難がありました。経営危機に直面する開業医が、一九四八年(昭和二十三年)制定の「消費生活協同組合法」の後押しを得て、生活協同組合を基礎にした医療活動に取り組んだことが

向けた将来像を展望しましょう。

一九五〇年(昭和二十五年)四月、京都医療生協創立総会が開催され、その後、設立認可をめぐる京都府との交渉を経

て、翌年に認可され(一九五〇年五月一日付)正式に設立されるに至りました。京都医療生協は、戦後日本に生まれた新しい医療運動であり、組合員を主人公に協同の精神を基調に人と人をつなぐ組織です。そこには国民皆保険制度創設への取り組み、医師・職員と組合員との協同による質の高い医療を実現させようという創業者・中野信夫先生の理念が息づいているのです。

京都医療生協では例年のとおり、日本高齢者大会日程で熱海において開催代表者を派遣することとなりました。

今年度、第三十二回として参加される予定を迎える日本高齢者大会は、十一月二十五日

今年度、第三十二回として参加される予定を迎える日本高齢者大会は、十一月二十五日

保険で良い医療を

本年八月から介護サービス利用料に三割負担が導入されました。医療費自己負担増が受診抑制を生んだように、介護サービス利用の抑制傾向が懸念されます。

第32回 日本高齢者大会 in 熱海へ 代表者を派遣します!